

しまね和牛振興事業のうち「雌子牛評価向上支援」

24/03/15 畜産課

I 背景

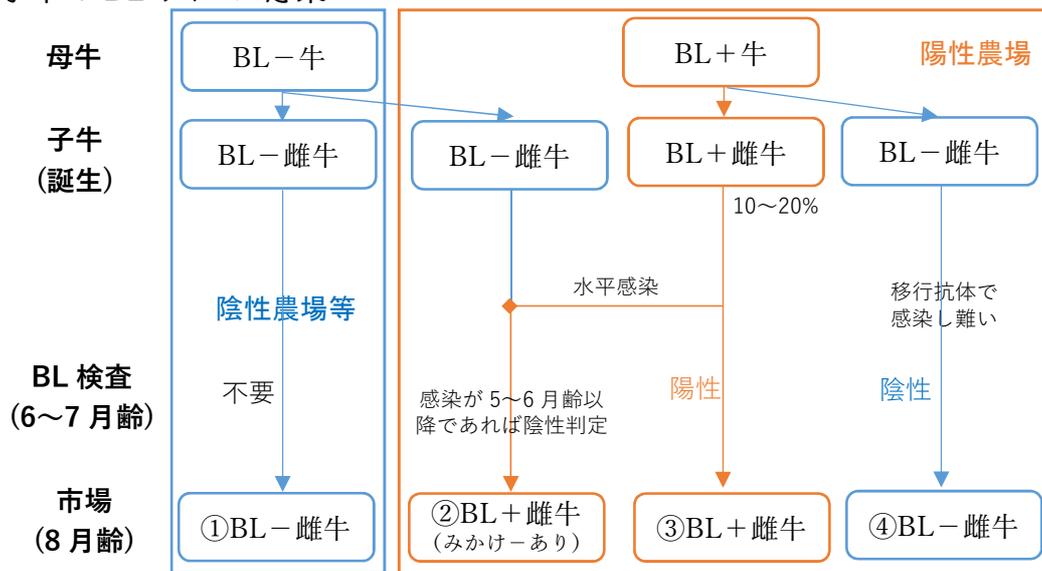
(1) 生産者からの要望

【県への要望】「市場に上場する雌子牛の牛伝染性リンパ腫（BL）検査を実施し、公表することで、評価向上につなげたい」 ※ 県内複数地域の生産者から

【これまでの回答】清浄化に取り組みたい農場の BL 検査は従前から対応。ただし、市場出荷牛のみの検査は、現在の家保の体制では対応が困難。

【新たな対応策】採血から検査まで民間機関で実施される場合にかかる費用の 1/2 相当を支援することで、上場雌子牛の BL 検査を試行。

(2) 子牛の BL ウイルス感染



※ “垂直感染を生じさせる雌牛”もしくは“水平感染源となる牛”は、「感染BLウイルス量が多い」ことが判明しており、最近では「感染力が強いウイルス株がある」という知見も出てきています。

※ また、垂直感染牛は、発症するリスクが高いことが示唆されています。また、繁殖雌牛として保留した場合、生産性（受胎率等）への影響が懸念されています。

2 事業概要

市場に上場する雌子牛について、牛伝染性リンパ腫検査を受け市場で公表する場合に、その検査費用を支援する。

- (1) 助成対象者：市場に和子牛を上場する生産者（繁殖、酪農）で、雌子牛の BL 検査を希望する者
- (2) 助成内容：1頭につき 3,500 円/頭（定額）を交付（採血・検査費用の 1/2 相当額）
- (3) 事業要件：民間診療機関（想定：NOSAI、開業獣医師）で採血し、
民間検査機関（想定：全農クリニック）で検査を実施する場合に限る
- (4) 予算額：2,800 千円

3 補足

- (1) 陽性牛の公表
 - ・ 検査希望者の判断に委ねる予定です。ただし、検査希望者には、陽性牛の取扱を事前に検討しておくよう指導します。
- (2) 検査方法
 - ・ 現在、県では獣医大学との共同研究により感染牛を判別できる簡易検査法を研究予定です。
 - ・ 将来的には、BL ウイルスの簡易検査や B L ウイルス株の感染力判定検査をいち早く現場導入し、BL 対策を希望される生産者に還元していく予定です。